

平成 21 年度
修 士 論 文

Abcd ここに論文タイトルを記入する



静岡大学大学院 工学研究科 修士課程
機械工学専攻 計測情報分野

学籍番号 5000-0000

姓 名

指導教員 金子 透 教授

2010 年 3 月

Copyright © 2010 LASTNAME, Firstname.
All Rights Reserved.

審査委員

金子 透 教授
(主 査)

山下 淳 准教授

岩田 太 准教授

要 旨

Abcd ここに論文タイトルを記入する

姓 名

ここに要旨を書く．書かない場合はコメントする

Abstract

Fill out the paper title in English.

LASTNAME, Firstname

Fill out the abstract in English.

目次

要旨	i
Abstract	ii
第 1 章 サンプル	1
第 2 章 序論	7
第 3 章 結論	9
謝辞	11
参考文献	13
研究業績	15
付録 A 付録がある場合はここに書く	17

図目次

1.1	図のサンプル	1
-----	------------------	---

表目次

1.1	booktabs で追加された罫線と float オプションを使用した例 . . .	2
1.2	multirow を使って行を連結した表の例	4

第 1 章

サンプル

図は fig フォルダにまとめて保存したほうが管理しやすい．また eps は再編集不可能なので編集可能な元のファイル（パワーポイントデータや，Canvas データなど）を original フォルダ等を作成して保存しておくこと．



図 1.1 図のサンプル

2 第1章 サンプル

booktabs で追加された罫線`\toprule`, `\cmidrule`, `\midrule`, `\bottomrule` と float の [H] オプションを使用した表の出力例を表 1.1 に示す. なお表の相互参照には `myref` の表記方法を使用しているので, 詳しくはこのソースファイルを参照のこと.

表 1.1 booktabs で追加された罫線と float オプションを使用した例

[illegible]

ここには `lscape` パッケージを用いて横長に内容を入力している．横に長い表や図を張り込む場合に使用．使い方は横長にしたい部分を `\begin{lscape}` , `\end{lscape}` でくる．

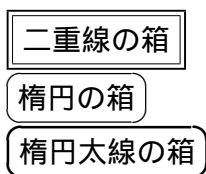
4 第 1 章 サンプル

表 1.2 multirow を使って行を連結した表の例

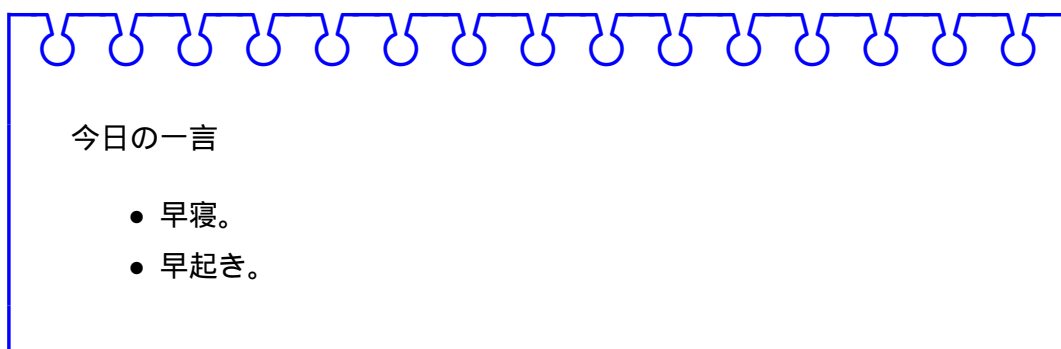
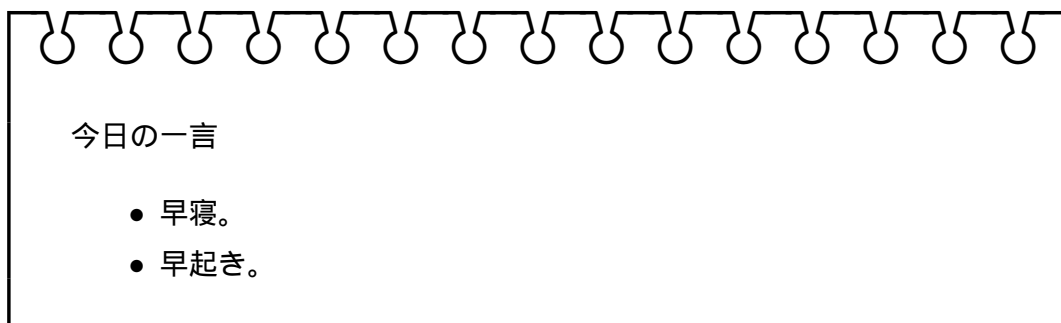
縦結合	1	2
	3	4

表 1.2 は\multirow オプションを使って縦の行を連結している .

fancybox の出力例



ascmac の出力例



```
\begin{screen}
```

```
c:> dir /w
```

```
c:> dir /w
```

```
itembox[l], [c], [r]
```

はじめに

挨拶

一同礼

—— 途中に ——

挨拶

一同礼

—— 最後に ——

挨拶

一同礼

≡keytop と組み合わせて、

—— 本 当 に 最 後 ——

挨拶

一同礼

—— 本 当 に 最 後 ——

挨拶

一同礼

第 2 章

序論

第 3 章

結論

謝辞

ここに謝辞を書く.

2009 年 3 月

山田 太郎

参考文献

- [1] 著者氏名 1, 著者氏名 2, 著者氏名 3: “論文のタイトル . ABCDEF abcdef” ,
論文が掲載されている雑誌名 , Vol.00 , No.00 , pp.000–000 , 0000.
- [2] Firstname M. Lastname, and Firstname van de Lastname: “Paper title”, Journal
name, 0000.
- [3] 著者氏名 1, 著者氏名 2, 著者氏名 3: 本のタイトル , 出版社 , 0000.

研究業績

学術論文

福地功，山下淳，金子透，三浦憲二郎，“時空間画像処理による雨天時画像からの視野妨害ノイズ除去”，映像情報メディア学会誌，Vol.62，No.5，掲載予定．

査読付講演論文

A. Yamashita, I. Fukuchi, T. Kaneko and K. T. Miura, “Removal of Adherent Noises from Image Sequences by Spatio-Temporal Image Processing”, Proceedings of the 2008 IEEE International Conference on Robotics and Automation, Pasadena(U.S.A.), May 2008, to appear.

口頭発表

福地功，山下淳，金子透，三浦憲二郎，“時空間画像処理を用いた悪天候時の視野明瞭化”，映像情報メディア学会技術報告，Vol.32，No.8，pp.83–86，横浜，February 2008．

付録 A

付録がある場合はここに書く